

筑豊小児科医会会報

Vol.227 2025.12



Contents

- ◇ トピックス
- ◇ 筑豊小児科医会入会のご挨拶
- ◇ 小児科関連勉強会のご案内
- ◇ 研修医のご紹介
- ◇ 飯塚病院 月間診療のまとめ《2025年9月》
- ◇ AI-CAP 通信
- ◇ Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)

発行：飯塚病院小児センター（飯塚市芳雄町 3-83）
（代表）TEL：0948-22-3800

トピックス

リハビリテーション部のご紹介

リハビリテーション部 技師長 甲斐田 幸輝

リハビリテーション部は、「共に成長し、最高のリハビリを提供するために」のビジョンのもとに、急性期のリハビリテーションを提供しています。理学療法士（以下 PT）・作業療法士（以下 OT）・言語聴覚士（以下 ST）が医師や看護師、ソーシャルワーカーなど多職種と連携し、患者さん一人ひとりの目標に合わせたチーム医療を実践しています。脳血管疾患や運動器疾患、心大血管疾患、呼吸器疾患など幅広い分野に対応し、患者さんの心身機能、日常生活動作の改善に力を注いでいます。

小児リハビリテーションでは、発達の遅れや運動・言語・摂食などに課題を抱えるお子さまを対象に、PT・OT・ST が連携してチームをつくり、成長段階に応じた支援を行っています。また、入院リハビリテーションでは重症心身障害児の肺炎や痙攣重積発作などの小児救急で入院したお子さまに、呼吸療法や特性に合わせた身体機能への介入、環境調整など他部門と連携しながら介入しています。

私たちは遊びや日常生活動作を通して「できた！」という喜びを育み、お子さまの自信や意欲を大切にしたいリハビリを提供しています。園や学校、関係機関とも連携し、ご家族と共にお子さまの成長をサポートしています。

飯塚病院リハビリテーション部は、地域に根ざした包括的な支援体制を整え、赤ちゃんから高齢者まで、すべての世代の「笑顔で過ごせる毎日」を応援しています。

筑豊小児科医会入会のご挨拶

●飯塚市立病院 小児科 部長 た さ き ひでのり 田崎 英範 先生

8月1日より、飯塚市立病院で小児科部長を務めることになりました、田崎英範と申します。生まれも育ちも桂川町です。かつて飯塚病院に勤めていたこともあり、今回17年ぶりに飯塚へ戻ってまいりました。街の雰囲気や人の温かさに触れるにつけ、懐かしさと同時に「ここが自分のホームだ」としみじみ感じております。

地域子どもたちとご家族が安心して過ごせるよう、また筑豊の小児医療のお力になれるよう、気持ちを込めて取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

小児科関連勉強会のご案内

■ 12、1月の筑豊小児科医会勉強会は休会とさせていただきます。

研修医のご紹介

●初期研修医 1 年目 なかにし なつき 中西 那月

初期研修医 1 年目の中西那月と申します。飯塚市出身で、出身大学は佐賀大学です。12 月より 5 週間、小児科で研修させていただきます。

私自身、飯塚病院で生まれ、小児科でもお世話になりました。医師として、飯塚病院の小児診療に携わることができていることを嬉しく思います。

至らない点もあるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

飯塚病院 月間診療のまとめ 《2025 年 9 月》

●入院患者数 132人 ●外来患者数 980人 ●救命救急センター受診者数 62人

●新生児センター入院患者数 15人 ●分娩件数 25件 ●手術件数 12件

●主要疾患数（退院患者数：109 人）

肺炎・気管支炎	19	痙攣及びてんかん	11	急性胃腸炎	7
低出生体重児	5	急性上気道感染症	4	喘息	2
新生児呼吸障害・心血管障害	1	髄膜炎	1	その他	59

●紹介件数（五十音順）

小児科：145 件	
ひこばえ子どもクリニック	16
雪竹医院	11
宮嶋医院	9
こどもクリニックもりた	7
弥永内科小児科医院	
平野医院	6
飯塚市役所 こども家庭課 母子保健係	5
飯塚市立病院	
千手医院	
吉國医院	

小児外科：21 件	
飯塚市役所 こども家庭課 母子保健係	7
こどもクリニックもりた	2
津川診療所	
あざかみこどもクリニック	1
諫山医院	
きらめきクリニック小児科・内科	
栗原小児科内科クリニック	
聖マリア病院	
ひこばえ子どもクリニック	
松尾ファミリークリニック 他 3 件	



ChatGPTをはじめとした生成 AI が身近になり、私たちの仕事や日常にも少しずつ入り込み始めています。文章作成や情報整理を手伝ってくれる一方で、「AI にどこまで頼れるのだろうか？」という感覚を持つ方も多いのではないのでしょうか。今年の 3 月、こども家庭庁が「児童虐待リスクを判定する AI システム」の全国導入を見送ったというニュースがありました。児童相談所で一時保護の必要性を判断する際、AI がリスクスコアを算出して補助的に使う構想でしたが、実証段階で AI の判定が現場の判断と大きく食い違うケースが相次いだためです。

AI は、過去の事例データを学習して「似たケースではどう判断されてきたか」を予測する技術です。しかし、児童虐待の判断は、子どもの表情や声のトーン、親子の距離感、家庭背景、その場の“違和感”など、数値化できない要素の積み重ねによって下されます。入力項目にないこれらの細かなニュアンスは AI に伝わりません。一方で、AI がまったく無意味かということ、そうではありません。経験の少ない職員の補助になったり、判断のばらつきを減らしたり、業務量を軽減する可能性はあります。私たちが大切にしたいのは、「AI か、人か」という二者択一ではなく、人の判断を支えるために AI をどう位置づけるかという視点です。

とはいえ……（以下は私の感想です）。子どもたちがマルトリートメント（不適切な養育）を受けているかどうかは、現場で関わる多職種の方々の意見を合わせれば、気づくのはそれほど難しくありません。気づいた後に児相による一時保護の判断をサポートするのが、こども家庭庁の AI です。しかし、仮に完璧な AI ができたとしても、果たして AI が下した判断に沿って児相の方が動くのでしょうか。私はそうは思いません。なぜなら、過去に地域の多職種で話し合いを重ね、総合的に一時保護が妥当だと判断されたケースでさえ、一時保護には至らなかったからです。他にも、これまで事件化された多くのケースで同様のことが起きてきました。

児童虐待の肝は予防であり、そのための家族支援です。福祉、医療、教育、保育など、多職種が有機的に連携して子どもたちを守り、家族を支えることが何より重要です。私たちは、それができる職場にいます。大切なのは、自ら動くことです。児童相談所に頼っていては、子どもを救うことはできません。いわんや AI をや、です。

来年もよろしくお願いします。

文責：AI-CAP 大矢 崇志

<AI-CAP 事務局へのお問い合わせ> TEL：0948-88-8220（直通）FAX：0948-88-2806

Pediatrics note（小児科 診療部長 大矢崇志）

外来には、様々な子どもたちがやってきます。行動が切り替えられず、注意されると癇癪を起こす子、喧嘩が絶えない子、物やお金を盗む子、嘘をつく子など、お母さんの困りごとはさまざまです。なんべん叱っても、まるで自分を困らせるかのように同じ過ちを繰り返す我が子。叱るのではなく、約束を守れたら褒めてご褒美をあげると良いと言われ、やってみても約束は守られず、叱る回数ばかり増えて親子関係が悪くなる…。社会に出て恥ずかしい思いをしないようにと願っているのに、どうして伝わらないの——そんな八方塞がりの中、お母さんの悩みは増すばかりです。

イギリスの小児科医であり精神分析家でもあった D.W.ウィニコットは、このような子どもたちに必要なのは「抱えられる経験」だと説きました。問題行動を完璧に直すよりも、ときにそれらに目をつぶってでも子どもを抱きかかえ、受け止める — そんな“ほどよいお母さん（good enough mother）”であることを勧めたのです。

疲れた時はちょっとサボったり、趣味にのめり込んだり。子どもだけでなく自分のことも大切にする、そんな“ほどよいお母さん”です。完璧じゃなくていいし、不完全でいい、時には失敗してもかまいません。大切なのは、“何があってもあなたを嫌いにならないし、関係（絆）は壊れない”ことを伝え、それを実行し続けることです。あなたが誰かと親密な関係を築く時、相手は完璧な人がいいですか？それとも少しおっちょこちょいでも自分を許してくれる人がいいですか？ そうでしょう。それが「ほどよいお母さん」なのです。

今月は師走でクリスマスです。この時期にぴったりの映画『ホールドオーバース 置いてけぼりのホリディ』をご紹介します。

舞台は 1970 年代のボストン近郊にある全寮制の名門寄宿学校。生徒や教師たちがクリスマス休暇で家族が待つ家に帰る中、誰もいない学校に置いてけぼりにされた 3 人がいた。生真面目で融通が利かず、生徒や同僚から煙たがられる教師ハナム、母親が再婚相手とバカンスに行ってしまう、帰れなくなった反抗的な生徒アンガス、ベトナム戦争でひとり息子を失った料理長メアリー。それぞれ立場も異なり共通点のない 3 人が、2 週間のクリスマス休暇をともに過ごすことになる。

完璧を押し付けるハナムとアンガスは相いれず、最初是对立しますが、メアリーとともに、それぞれが抱える弱さや失敗をさらけ出すことで、徐々にお互いを思いやるようになります。完璧が解け、ほどよくなったハナム先生が最後に見せる心意気に、僕の涙腺は堪えきれませんでした。大好きな作品です。ぜひご覧ください。

最新の情報は飯塚病院ホームページよりご覧ください。

また、小児科・小児外科の詳しいご紹介や診療実績は「診療科のご紹介」をご覧ください。

外来担当表



小児科のご紹介



小児外科のご紹介

